



Facebook 配信中!
今すぐアクセス!!



牧之原市議会だより

第57号

令和2年2月15日発行

11月定例会号

かけはし



今後2年間の議会構成が決定! 2
大井川の水保全について国と県へ意見書提出! 7
7議員が市長に問う! (一般質問) 11

地頭方小学校 しめ縄作り

委員会構成

委員会ってなあ～に？

市には多くの仕事があり、1つ1つを全議員で話し合って決めることは時間がかかります。そこで、仕事の種類によってグループ分けし、詳細に調べたり話し合ったりします。



議会運営委員会

本会議の運営や、請願、陳情などの取り扱い。その他、市議会運営に関すること

(委員長) 鈴木 千津子 (副委員長) 平口 朋彦
大井 俊彦 澤田 隆弘
藤野 守 鈴木 長馬

総務建設委員会

財政、道路・河川、水道、防災、公園、観光、商工業、農林水産業、市の計画など

(委員長) 平口 朋彦 (副委員長) 鈴木 長馬
中野 康子 大石 和央 鈴木 千津子
良知 義廣 植田 博巳 濱崎 一輝

文教厚生委員会

学校、図書館、スポーツ、環境、健康、福祉、子育て、病院、税務など

(委員長) 藤野 守 (副委員長) 澤田 隆弘
大井 俊彦 太田 佳晴 村田 博英
名波 喜久 吉田 富士雄 原口 康之

議会広報特別委員会

議会だよりの編集や市議会ホームページなど、議会の広報活動に関すること

(委員長) 濱崎 一輝
(副委員長) 原口 康之
藤野 守 平口 朋彦
吉田 富士雄 鈴木 長馬

議会改革特別委員会

議会改革の推進や議会基本条例など各種見直しに関すること

(委員長) 大井 俊彦
(副委員長) 平口 朋彦
全議員で構成

監査委員 (議会選出)

市の財政や経営状況についてのチェック・指導など
有識者による代表監査委員との2名体制で活動している

太田 佳晴

～議会の構成が変わりました～



議長
中野 康子

議員各位のご推挙をいただき議長に就任いたしました。職責の重さを痛感しています。円滑な議会運営に努め、市民の皆様が開かれた議会となるよう努めていきます。牧之原市は大変厳しい財政状況の中、山積する諸課題を抱えております。市民の皆様のご要望にお応えすべく、議会と行政が連携して市政の発展に向けて、微力ではありますが、全力を尽くしてまいります。

先般、南海トラフ巨大地震に備え「地震財特法の延長に関する意見書」を国に提出しました。意見書はもろろんのこと、議会が一体となれば条例制定も可能となります。

若い世代や女性の方の意見を施策に反映させたい、それには市民の皆様のご理解、お力添えが必要です。ぜひともご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



副議長
大井 俊彦

令和の幕開けとともに、このたび市議会も新たな体制でのスタートとなりました。私も副議長として、その職を責任もって全うしていくため、決意を新たにしたいところです。

今、私たち地方議会が考えなくてはならないことは、国の法律のとおり決められたことを行うと同時に、地域の実情を鑑みながら、市民の皆様のために何をすればよいかを常に求めていくことが重要であります。

そして、市民のために開かれた風通しの良い議会と、効率的で効果的な議会運営を目指すため、より一層の議会改革を進めていかななくてはなりません。

今後、これらを念頭に積極的な議会活動を行って参りますのでよろしく申し上げます。



文教厚生委員長
藤野 守

環境、福祉、医療、教育等の分野について担当しています。これらに関わる課題は、とりわけ日々の市民生活に密着したものばかりです。当委員会では、様々な角度から議論、協議し課題を見出し、提出書としてとりまとめ、市当局へ改善を求めていく考えです。よろしく申し上げます。



総務建設委員長
平口 朋彦

企画政策や建設、産業経済など市の発展、活性化に寄与する部及び人事など全庁を管理する総務部等、広範な部署を受け持ち、チェック、指導、提案をする委員会となります。

「将来を見据えた魅力あるまちづくり」をテーマに調査研究をし、実効性を伴った中長期的なビジョンと根拠に基づく政策提言を目指してまいります。



議会運営委員長
鈴木 千津子

市議会は議会基本条例に則り、市民が開かれた議会運営を基本に議会改革を進めてまいりました。

新たな議会構成においても、これまで以上に市民に信頼されるよう、意見交換の場を設ける等、わかりやすく、開かれた議会を目指します。

多様な声を生かし、円滑な議会運営に努めてまいります。

議案への主な質疑

成年後見制度利用促進審議会
条例の制定について

今までは親族以外に、司法書士や弁護士等が後見人となっていたが、なり手不足解消のため一般市民の中から後見人になる人が増えるよう、新たに審議会を設置し、推進体制を構築するとともに、地域の実情に合った検討をするための付属機関を設置するもの。

明確な条例策定の必要性は

問 単なる審議会設置の条例ではなく、目的や基本理念などが明確な条例策定が必要ではなかったか

答 成年後見を進めるため、その都度ニーズに合った形で、国の基本政策に沿った市の計画として進めていきたいと考えている。

近隣市町の状況は

問 近隣市町の状況は

答 市民後見人の育成は、藤枝市、焼津市、島田市、川根本町で始まっている。吉田町と牧之原市が未実施のため、共同で実施できないか検討する。成年後見センターは、藤枝市、焼津市、島田市が設置している。

市民後見人の不祥事対策は

問 市民後見人に関しては全国で事件、事故が多い。市民後見人になるまでにどのように審査するのか



法務省が発行する啓発ポスター

制度利用の現状と今後は

問 市が把握している制度の利用者数と、今後支援の必要な人数は

答 利用者は平成30年末79人であり、今後5年間で49人の利用を見込んでいる。成年後見センターや各部会でも後見人の適性をチェックし、制度の悪用を防止する。

委員報酬の予算は

問 条例制定にあたって関係予算が必要な場合、地方自治法では「少なくとも同一会期中に適格な予算を講じなければならぬ」とされるが今回の委員報酬は

答 本来であれば予算計上が見えていたが、今回は既に決定している予算から流用させてもらう。

答 始めに書類審査を行い、最終的にはカリキュラムを終えた時点で適正かどうか判断する。決定後は、年1回裁判所へ収支報告し、預金通帳等を提示しなければならず、成年後見センターでも指導する。

会議等は公開されるのか

問 条例案には秘密の保持についても明記されている。審議会の会議や資料等は非公開となるのか

答 審議会や部会の会議内容には個人情報も含まれるため、基本的には非公開、非開示を考えている。

審議会の庶務の担当は

問 審議会の庶務はどの部署が担当するのか

答 成年後見制度は福祉ことも一部社会福祉課が担当している。今回の審議会についても、成年後見制度に関することであり、庶務は社会福祉課が担当する。

水道事業給水条例の一部を改正する条例

問 工事業者を指定するにあたり5年ごとの更新制になったため、更新時の手数料を定めるもの。

手数料徴収の理由は

問 手数料を徴収するようになった理由は

答 規制緩和により工事業者が激増したため、営業状況などの実態把握することが困難だった。工事業者の資質を保持する目的のため制度が導入された。

裁判所

牧之原市

成年後見制度利用促進審議会条例の制定について

牧之原市における成年後見制度のイメージ

○成年後見制度利用促進審議会

- ・成年後見センター設置に向けた検討
- ・成年後見制度利用促進計画の策定
- ・市民後見人の育成に関すること

○個別支援部会（専門部会）

- ・対象者の早期発見、支援方針の検討
- ・適切な後見人の検討
- ・市民後見人のマッチング、調整

○市民後見推進部会（専門部会）

- ・市民後見人の育成や支援
〔養成講座修了時の審査〕
〔名簿登録時の審査〕

※チーム（対象者1名に対し設置）

- メンバー
介護サービス事業所、ケアマネージャー
民生委員、地域包括支援センター 等

※チーム（対象者1名に対し設置）

- メンバー
障害施設、障害サービス事業所
相談支援事業所 等

○成年後見センター（中核機関）

- ・相談業務（相談窓口、他機関の後方支援）
- ・市民後見人の活動支援・監督
- ・後見人への支援（専門的な助言）
- ・親族後見人支援（相談窓口、書類作成支援）

後方支援

報告
相談

これまでの経緯は

問 水道法の改正により、水道工事業者の登録更新時に1万円の手数料を徴収することになったが、これまでは徴収していなかったのか

答 これまでは初期登録すれば更新の必要はなかったが、法改正により5年ごとの更新制度が導入された。

市道路線の廃止及び認定について

問 静波地内の路線を671・8メートル廃止し、そのうち312・4メートルを認定するもの。

廃止後の路線の取り扱いは

問 廃止する路線と認定し直す路線と距離に差があるが、どのような対応となるのか

答 個人名義の公衆用道路に戻すことになる。

国・県へ提出!

中央新幹線建設における大井川水系の水資源の保全に関する意見書

現在、牧之原市内で使用している水は100%大井川を水源としています。今回、リニア中央新幹線建設工事により大井川の水量が減少することが心配されていることから、市議会では国及び県に対し意見書を提出しました。

「中央新幹線建設における大井川水系の水資源の保全に関する意見書」

要旨

リニア中央新幹線建設に伴う大井川の流量減少に関して、昨年10月にJR東海は「トンネル湧水の全量を大井川に戻す措置」を表明し、その後、静岡県中央新幹線環境保全連絡会議の場で、その手法や監視体制等に関する有識者の知見を交えた協議が進められてきた。

私たち牧之原市議会をはじめ大井川流域の市町議会は、流量の全量回復と確実な環境保全措置の実現を目指し、本年1月に8市2町の議長連名で要請書をJR東海に提出するとともに、県中央新幹線環境保全連絡会議等での協議経過を見守ってきたところである。

しかし、協議の内容を確認する中で、改めて南アルプスの複雑な地質構造に由来した地下水脈の変動、それに伴う表流水の減少、さらには地中の有害物質が及ぼす大井川の水質悪化に関して、JR東海が説明する対応策が確実に実行され、担保されるのか疑問を抱かざるを得ない。

ユネスコエコパークの認定を受け、希少な動植物が生息する南アルプスからもたらされる大自然の恵みは、今なお流域の豊かな緑を育み、清き流れとなって駿河湾をより碧く深いものにしていく。この尊ぶべき自然環境を私たちは現時点だけを見据えることなく、将来に亘って引き継がれていくようにする義務がある。

よって、市民を代表し下記の事項について要望する。

《国に対するもの》

- 1 将来に亘って流域住民の安全・安心な生活が確保され、企業活動の弊害が生じることのないよう、水資源及び自然環境の保全に万全を期す対策が示されるべく、JR東海と調整されたいこと
- 2 水資源及び自然環境の保全対策について、流域住民の理解を最優先とする説明がされるよう、JR東海と調整されたいこと
- 3 地域の実情を踏まえ、国は中立性をもって協議の場に参画されたい

《県に対するもの》

- 1 将来に亘って流域住民の安全・安心な生活が確保され、企業活動の弊害が生じることのないよう、水資源及び自然環境の保全に万全を期す対策が示されるべく、国が関わることにあたって、JR東海との調整に引き続きリーダーシップをとっていただくとともに、流域自治体、利害関係者の声を汲み取っていただきたいこと
- 2 水資源及び自然環境の保全対策について、流域住民の理解を最優先とする説明がされるよう要請されたいこと
- 3 協議結果を明文化した基本協定の締結を完遂されたい



知事に直接手渡しました

市政に対する総合的な質疑

田沼意次侯生誕300年記念式典について

問 式典当日は市内外から2万人超が来場し、過去に例がないほどの大盛況であった。最近の市内各種イベントも好評であり、共通点は天候が良かったことと無料であったことだと考える。一過性にならないよう検証を行ってほしいが成功の要因は

答 1年半前から実行委員会を中心に周到な準備を行ってきたことが一番の要因だと思う。



多くの人で賑わった田沼意次侯生誕300年記念式典

ブランドメッセージについて

問 今後策定予定の市のブランドメッセージは誰が作るのか。既存にあるものとのすみ分けは。またどのように発信していくか

答 委託を受けた活性化センターが、市民代表や観光事業者、コピーライターとともに作り上げ、市をイメージできる新しいものに。ロゴなどを用いながらHP・冊子等に利用できたらと思うが具体的にはこれから。

大井川の水問題について

問 リニア新幹線に伴う大井川の水保全対策については、議会としても応援体制をとっている。新幹線新駅の今後も含め市長の考えは

答 県が先頭に立ち8市2町の協議会を立ち上げている。JRの回答がしっかりされているのが課題であるが、まずは、水を確保することが大変重要である。新幹線新駅の可能性は議論できる土俵を作ることが大事。

11月臨時会

早急に災害復旧工事予算を確保

専決処分の承認について
(一般会計補正予算(第4号))

台風19号による災害復旧事業を早期に実施するため、予算額を1億4489万3000円増額したものの。

水害に対する今後の対策は

問 河川堤防が破損した場所もあるが今後の対策は

答 大型台風が当たり前に来る状況であり、これまでの整備計画も見直す必要があると思っている。それを踏まえ、11月28日には、市長が県の幹部や土木事務所へ要望した。



台風により浸水した道路(細江地区)

国からの補助基準は

問 災害復旧事業に対し、補助が出る基準は

答 時間雨量20ミリまたは日雨量80ミリ以上降雨があった場合に対象となり、なおかつ工事金額が60万円以上(土木施設)、40万円以上(農業施設)の場合に国の補助対象となる。

職員の超過勤務手当の金額は

問 今回の台風対策による職員の超過勤務手当の総額はいくらか

答 金額は現時点で算出していないが、台風対策で出勤した職員は延べ560人、延べ勤務時間は2900時間である。

審査の結果、討論なく全会一致で承認されました。

11月定例会 補正予算の審査

○今回の補正予算の主な内容

- ・台風19号により被災した道路等の復旧費
- ・放課後児童クラブ利用者数増加に伴う経費
- ・放射線防護施設建設に伴う用地費
- ・東京五輪聖火リレーの準備経費
- ・川崎小学校体育館の照明故障に伴う修繕費

利用者が多い児童クラブは

放課後児童クラブ運営費

496万9000円増額

問 川崎小と細江小の放課後児童クラブの利用者が多いとのことだが、昨年より何名が増加しているのか

答 昨年度と比較し川崎小が17名増、細江小が29名増である。支援員は全体で4名増加させ対応している。

当初予算で金額が少ない理由は

市道維持補修費 200万円増額

問 当初予算で例年並みの修繕件数を見込み計上しなかったのか、あるいは件数が少ないと見積もったのか

答 今年度は降雨等の天候が要因で例年より件数が多く、また早目に維持修繕の件数を把握できたための増額補正である。

危険箇所を網羅できるのか

交通安全対策整備事業費

545万円増額

問 今回の補正予算額で市内の危険箇所を全て網羅できるのか

答 保育園、幼稚園や小中学校の教育委員会、警察と連携をし、一定の基準を設けてパトロールしている。現時点で必要だと思われる部分に対し補正予算の追加をお願いする。

補正予算で対応すべきか

公園緑地管理費 145万円増額

問 公園駐車場の改修工事だが、補正予算で対応する理由は何か

何か

システムが機能しない理由は

児童扶養手当費

50万5000円減額

問 開発された児童扶養手当システムがうまく機能しなかったとのことだが、対応と詳細な説明を求め

答 当初、住基システム管理業者とは別業者のシステムを導入する予定でいた。しかし、他市町でテストした結果、うまく機能しなかったため、住基システム管理業者が独自開発することとなった。次年度早々に導入する。

排水機場の点検方法は

湛水防除施設等管理費

207万1000円増額

問 排水機場の点検はどのように行っているのか。また、修繕計画を作成し管理しているのか

答 専門業者が年間を通じて定期的に点検を行っている。また、実際に作動するか職員が毎月点検している。機場は市内に複数あるため、それぞれと兼ね合いをとりながら修繕計画を立てている。



梅雨時期にはあじさいが満開になる秋葉公園

答

秋葉公園の駐車可能台数が不足しているため近隣の場所を利用してはいたが、近隣住民が騒音等で迷惑していることもあり急ぎよ5台分の駐車スペースを確保するものである。

業務の委託先は

沿岸部活性化推進事業費

82万5000円増額

問 沿岸部活性化のための業務はどこに委託をするのか。

答 委託先は決まっていないが、委託内容はウェブプールを核とした観光誘致等に関わる部分をお願いする。金額はこれまで進めてきた中での試算である。



大雨時に作動する排水機場

業者による点検の期間は

問 専門業者による点検はどの程度か。また、今回の修繕は計画に入っていなかったものか

答 機場の全体的な点検は年1回実施している。それ以外に不具合が生じた場合は、その都度依頼している。今回は、周辺設備のタンク及び輸送管の取り替えであり、緊急的な修繕である。

排水機場が故障した原因は

問 排水機場(細江地区)のポンプ修繕は台風被害によるものか。今回の故障により、普段発生しない地区でも床上浸水が発生したが

答 40年経過したことによる経年劣化が原因である。ポンプのオーバーホール等を行い維持管理に務める。

予算は全て市が負担するのか

聖火リレー実施事業費

537万1000円増額

問 聖火リレーやオリンピック関係の予算は全て市が負担することとなっているが、国や県から補助等は出ないのか

答 国から特別交付税として予算のうち2分の1が補助される予定となっている。

補助対象になるための条件は

農地・農業用施設災害復旧費

6089万9000円増額

問 農業用施設復旧費は被害規模に応じて国が補助するのか、被害額に関係なく補助金がつくのか

答 農場用施設は1カ所の工事費が40万円以上であり、関係する戸数が2戸以上の場合に補助の対象となる。

補助対象外の復旧工事の対応は

問 補助対象外の災害にはどのように対応するのか

答 対象外の小規模のものは、市の単独予算で対応する。



台風により屋根が飛ばされたビニールハウス

委託料を増額した理由は

小学校施設管理費

153万9000円増額

問 エアコンの保安管理業務の委託料25万9000円の増額は何か

答 令和元年7月までに小学校7校にエアコンを設置したため、受電設備の交換が必要となり容量が増加した。7月以降発生する受電設備の保安管理のための業務委託料である。

専門職の配置は

介護保険特別会計

包括的支援事業費

429万6000円増額

問 新たに包括支援センターを設置する場合、社会福祉士等の専門職の配置は

答 社会福祉士及び看護師の2職種を採用する予定である。

問 ケアマネージャーの配置は

答 担任区分のケアマネージャーの配置は考えている。



牧之原市に聖火がやってきます！
(広報まきのはらより抜粋)

市政を問う!! 一般質問



大井 俊彦

質問の様子はこちら
-動画配信中!-



予想される災害廃棄物への対応は



問 市の廃棄物処理計画では、事前準備、初動期、応急対応期、復旧・復興期に分けて策定しているが、それぞれ、組織内の体制についてのどのように考えているか

答 市の災害対策本部に衛生班を中心とした災害廃棄物対策班を設置し、それぞれの対応期における体制を組織する計画となっている。そして、実際の災害規模、対応時期区分に応じて必要な部署へ担当者を配置していく。

問 被災地域の広域化により、広域処理する際の輸送体制確保が難航した場合、輸送業者の活用等、別途輸送体制の確保が重要になると思うが市の対応は

答 県の計画では、県域を越えた広域体制として、全国道府県との広域応援協定を結んでいるので、この協定により広域輸送業者を活用した輸送体制を確保していく。

問 災害廃棄物を適切に処理できない、または処理が遅延すると円滑な復旧・復興の妨げや、周辺分野へ悪影響を及ぼす恐れがあるので、平常時から綿密な対策を考えておいてほしい

答 「災害廃棄物処理計画」が実行性のあるものとなるよう、常に検証を行っていく。

牧之原市では、平成29年3月に「牧之原市災害廃棄物処理計画」を策定し、巨大災害によって発生するがれき等の災害廃棄物や避難所から発生する生活ごみの処理対応を定めている。しかし、被災した地域での廃棄物等の年間処理量は、通常の数倍から数十倍に上ると言われており、円滑な復旧、復興を進めるにあたって大きな障害となることは確実である。そうしたことを踏まえ質問する。

問 既存施設の処理見通しの遅れに伴う仮設処理施設の設置や、民間処理業者への委託等、速やかな判断が必要となると思うが、現時点でどのように考えているか

答 災害廃棄物が大量に発生した場合、早期に現状を把握し、市の処理施設で処理が可能か判断する。市単独で迅速な処理が困難と予想される場合は、県、市町村、関連団体及び民間事業者と連携して、広域的な処理を進めていく。



山積みになる災害ごみ

～議決結果と概要～

・11月臨時会

件名	結果	概要
専決処分 専決処分の承認について（令和元年度一般会計補正予算（第4号））	承認	1億4489万3000円増額し、予算額を207億6826万7000円としたもの。

・賛否が分かれた議案

結果	鈴木長	濱崎	原口	吉田	平口	藤野	名波	植田	村田	良知	澤田	鈴木千	太田	大石	大井	中野
人事案件 監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

監査委員に「太田 佳晴」氏を選任するもの。

・11月定例会

件名	結果	概要
人事案件 人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	人権擁護委員に「向笠 恵子」氏を選任するもの。
教育委員会委員の任命について	同意	教育委員会委員に「寺井 ゆみ」氏を任命するもの。
条例改正 会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決	会計年度任用職員制度の導入に伴い8つの条例を改正するもの。
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	法改正により特別職、非常勤職員から交通指導員及び自治振興協力員を削除し、選挙時における投票管理者等の報酬を引き上げるもの。
成年後見制度利用促進審議会条例の制定について	可決	成年後見制度の体制づくりを進めるため新たに審議会を設置し、併せて地域の実情に合った検討をするための付属機関を設置するもの。
分担金徴収条例の一部を改正する条例	可決	ほ場整備実施に伴い、受益者からの負担金の負担率を設定するもの。
水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決	工事事業者を指定するにあたり5年ごとの更新制になったため、更新時の手数料を定めるもの。
補正予算 令和元年度一般会計補正予算(第5号)	可決	5億3128万1000円増額し、予算額を212億9954万8000円とするもの。
令和元年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	429万6000円増額し、予算額を45億8809万5000円とするもの。
その他 字の区域の変更について	可決	男神地区水田区画整理事業の完了に伴い、筆界を変更するもの。
市道路線の廃止について	可決	静波地内の路線を671.8メートル廃止し、そのうち312.4メートルを認定するもの。
市道路線の認定について	可決	
報告 専決処分の報告について	報告	令和元年11月に発生した公用車での事故に対して損害賠償の額を定め和解したもの。
専決処分の報告について	報告	令和元年10月に発生した市道の陥没により発生した事故に対して損害賠償の額を定め和解したもの。
意見書 中央新幹線建設における大井川水系の水資源の保全に関する意見書	可決	リニア中央新幹線建設工事により、大井川の流量が減少することが危惧されているため、流量が確保されるよう国及び静岡県に対し要望するもの。（詳細はP7）
中央新幹線建設における大井川水系の水資源の保全に関する意見書	可決	

市議会のホームページが リニューアル!

市議会では、市のホームページと共に1月下旬にホームページのリニューアルを実施しました。新たなホームページは「誰もが見やすく、使いやすい」をコンセプトに、今まで以上に写真やイラストを多用し、見たい情報がどこにあるのが瞬時にわかるようになっています。

今後も、市民の皆さんにとって見やすいホームページを目指していきます。



一般質問

300年大祭は、市内外から人口の約半数に当たる2万人を超す人出となった。城下町を散策する「ぶらり田沼の旅」や小・中・高校生による意次侯を顕彰した歴史・地域学習や壁画修復、田沼劇、人形劇、大祭では「相良小ふるさと科」の「イン相良城学校」開催や市民による多くの記念事業が展開された。

これにより、市内外に意次侯の功績と牧之原市が発信され活性化の契機になった。今後もこの活力を持続可能なものにしななければならない。



植田 博巳

質問の様子はこちら
-動画配信中！-



田沼意次侯生誕300年祭



平田寺の竹灯り

問 記念事業の効果は

答 広い年代の方に意次侯を知る機会と理解が深められ、意次侯の功績の顕彰と市民の誇りの醸成に寄与した。大祭での販売が好調であり、報道機関による記事掲載や来場者によるSNS上への投稿など、広く牧之原市を発信できた。

問 今後のあり方は

答 引き続き意次侯を継承し、産業祭として実施する。意次侯の改革精神を引き継ぎ、社会教育や生涯教育、

産業、誘客、地域活性化の面から施策を行う。

問 鈴木梅太郎博士、相良氏、勝間田氏など郷土の偉人の顕彰を実施する考えは

答 今回限りではなく継続し、多くの郷土の偉人の功績や業績を顕彰し、さらなる郷土愛の醸成を図る機会を設ける。資料や史跡の調査研究を進め、歴史教育や出前授業、マップの作成などを通して、市内外へ広く周知していく。

問 各地区に歴史や偉人、史跡、神社仏閣が点在している。「ぶらり田沼の旅」のようにこれらを巡る散歩・自転車コースを開拓する必要があると思うか

答 「ぶらり田沼の旅」では、歴史好きの方など多くの方が遠方から来てくれた。関係人口の増加や歴史探訪、健康づくりも含め非常に有効で、活性化ツールとしていく。



田沼意次侯生誕300年記念大祭

問 郷土の偉人、歴史についての教育は

答 児童生徒や様々な方が学ぶ機会を、300年祭を契機にさらに充実させ、発展的にその子が歴史に興味をもち、自由研究や発表することに繋がっていく。大人になっても、さらに郷土に誇りをもつて、牧之原市が好きだという子どもたちが一層増えていくと思う。

日本では食べられるのに廃棄される「食品ロス」のうち、宴会時の食べ残しも問題視されている。宴会で乾杯後30分、お開き前10分は再度料理を楽しむことを呼びかけ、「もったいない」の気持ちを持ち、食品ロスを削減するもので、「宴会3010運動」として、多くの自治体が興味を示し全国に波及している。ゴミの削減はどの自治体にとっても課題であり、この取組みは食品ロス削減の一つの方策である。そこで、宴会前後20分間の食事タイムをとる牧之原市版「宴会2020運動」を推奨する。

問 宴会における食べ残し現状をどう見るか

答 食品ロス統計調査によると宴会での食べ残し割合は14.2%もある。世界では今も栄養不足人口が数億人いる中、食べ残しの量は、いかにも「もったいない」し、処理するにも膨大なコストがかかる。食品ロス削減の取組みは国際社会に対する責任でもある。宴会料理は適量注文などの取組みが必要。

問 当市で牧之原市版「宴会2020運動」を推奨するものであるが、このアイデアについての考え方は

答 食べ残し削減に有効な手法であり、この取組みを各飲食店に周知していただくとともに、市民にも広く情報提供を行っていく。

障害者就労施設の物品発注に支援を

問 国や地方公共団体が率先して、障害者就労施設等から物品等の調達を推進するよう必要な措置を講じることなどを定めた「障害者優先調達推進法」により市町の物品・役務調達実績が公表されている。しかし当市は県内市町において実績は下位である。

問 公共施設内において障害者就労施設からの物品調達での対応状況は

答 物品等の情報を庁内各課に周知し、発注を促進している。特に調達が大きく

いのはトイレトペーパーで全体の70%、市役所・学校・市所管の施設で使用している。

問 市民・市内企業及び事業所の物品調達状況は

答 特にお祭りの軒花は市内80の町内会から依頼がある。

問 推進法に対処した今後の対応は計画されているのか

答 特に公共施設で使用するトイレトペーパーは率先して100%の調達を目指す。地域内各施設と連携を図り、物品の紹介に取組む。



市役所で不定期に開かれる福祉のお店ドリームまきはのら

名波 喜久

質問の様子はこちら
-動画配信中！-



牧之原市版「宴会2020運動」を



一般質問

ある世論調査では「日本の民主主義の状況」に満足していないとの回答が40・7%を占めており、さらに政治への不信感は若者世代により顕著に現れている。次世代の担い手である若者の政治への積極的な参加を促し、まちづくりの主体者となってもらう環境づくりが今の牧之原市にとって何よりも重要ではないだろうか。

平口 朋彦

質問の様子はこちら
-動画配信中！-

次代を担う「若者」に活躍の場を



「地域リーダー育成」の1コマ
活発な話し合いが繰り広げられている。

問 自分自身と政治がかかわっていくための必要な知識や技術を取得するのが「主権者教育」である。当市の状況は

答 子どもたちの発達段階に応じて具体的にしている。生徒会役員選挙や社会科授業等で市議会を傍聴したり、議会だよりを参照し市の現状を学んでいる。

問 より具体的なほうが良いのではないかと。日本の公党がどういった国を目指しているのかを知ったり、また新聞を活用(NIE)した「争点教育」なども非常に重要だ

答 候補者のマニフェストを読み解く授業は、個人批判に繋がる等の問題もあり難しいが、新聞を使つての学びは市内でも実際に例がある。これは非常に効果があるのではないかと思う。



問 「教育」そして「若者」こそ最大の投資先だ。子育て世代に対しての支援策はあるが、それよりも若い世代への積極的な施策が必要ではないか。どういうまちなら残ってくれるか、どういう支援があれば住み続けたいと思っかを直接聞くことも大事。今行っている「地域リーダー育成プロジェクト」の修了生の受け皿として、市長の諮問機関「地域リーダー若者議会(仮称)」の創設を

答 誰がやるか、これが非常に難しい。行政が押し付けたら誰も受けない。成功例ともいえる「絆づくり事業」の中から意欲ある人たちが出てくるはず。それを最終的に束ねればいいと今のところはそう考える。

市内の工業団地周辺や大手企業の工場に通じる道路整備は進み、渋滞等の緩和がされてきている。一方で市民が利用する道路では傷んだまま未補修となっている路線がある。生活道路の早急な管理、点検、補修などの対応が必要である。

藤野 守

質問の様子はこちら
-動画配信中！-

傷んだ市道などの管理と補修を

問 傷んだ市道はどのような優先順位で修繕されているか

答 最優先は交通量の多い主要な道路であり、補助事業などを活用する路線。次に補助の対象とはならないが、比較的大規模な維持補修が必要な市単独予算によるものである。3番目は比較的小規模で市単独予算により対応するものとしている。平成29年度までは大型道路の新設改良事業があったが、現在は既存道路の維持補修を重点に進めている。

問 平成30年度の道路補修の要望は何件か。またどのような対応したか

答 各地区からの道路補修の要望は44件、うち39件は30年度予算により対応、他5件のうち4件は31年度対応済みとなっている。

問 道路に関わる補修箇所の把握や対応はどのようにしているか



新設された大倉吉丁田線

問 日常生活に利用する道路の保全、補修は早急に必要なものであると思うが

答 生活道路の補修は、例年3400万円を予算計上し実施している。要望があった補修路線は年度内に修繕していくことを基本としている。路線によっては2、3年内に対応する場合がある。

問 日常生活に利用する道路の保全、補修は早急に必要なものであると思うが

答 生活道路の補修は、例年3400万円を予算計上し実施している。要望があった補修路線は年度内に修繕していくことを基本としている。路線によっては2、3年内に対応する場合がある。



修繕が遅れ利用しにくい生活道路

問 道路補修の当面の対応と長期的な対応をどのようにしているか

答 道路等のインフラのメンテナンスサイクルは施設の延命化、ひいてはトータルコストの削減のために予防保全を行っている。市は補助事業の対象路線について維持管理の整備計画を策定している。また、年間を通じて業者と補修委託契約を結び市民生活に支障がないように対応している。

一般質問

地球温暖化の影響が台風の大型化などに見られ、様々な被害が頻発している。日本はパリ協定の温暖化防止対策において消極的だと非難されている。私は現在の「大量生産、大量流通、大量消費、大量廃棄」の社会を転換する必要があると考えている。



大石 和央

質問の様子はこちら
-動画配信中！-



気候変動にどう対応するのか

問 国連気候行動サミットでは、多くの国が対策を強化するとし、1100を超える自治体や議会が「気候緊急事態宣言」を行っている。市長の見解を伺う。

答 この宣言は意義あるものと考えている。県市長会等に多くの自治体が連携して取り組むよう働きかけた。

問 まずはわが市が宣言をして積極姿勢を示すことで、周りを巻き込むことも必要ではないか。

答 牧之原市だけが宣言をしても、国を動かすには至らないだろうと思うため、再生可能エネルギーの取組みなど、しっかりと発信をする中で、賛同者を得ていくということが必要であると考えている。

問 民間ではメガソーラーや風力発電が盛んであるが、市民や行政が参加した自立分散型の地域エネルギーのまちづくりが重要である。その仕組みづくりをどうするか。

答 民間ではメガソーラーや風力発電が盛んであるが、市民や行政が参加した自立分散型の地域エネルギーのまちづくりが重要である。その仕組みづくりをどうするか。

問 一般廃棄物のごみ削減の取組みも重要。削減目標値を下回っているが原因は何か。

答 可燃ごみ全体量の削減ができなかった。さらなる啓発に努めたい。



問 一例として、牧之原インターチェンジ北側の高台開発においては、地産地消のエネルギーのまちを目指したい。この地域では静岡ガスの天然ガスパイプラインが通っており、天然ガスを活用した発電、その他の利用を検討している。

答 一例として、牧之原インターチェンジ北側の高台開発においては、地産地消のエネルギーのまちを目指したい。この地域では静岡ガスの天然ガスパイプラインが通っており、天然ガスを活用した発電、その他の利用を検討している。

問 相良地区で計画している公民連携の大型施設を、同じく都市拠点となる榛原側にも整備していく計画はできたらいいなと思っ

答 できる。民間の方々からの提案もある中で、様々な課題解決ができるか検討していく段階にきている。

○その他の質問
 対話による協働のまちづくりとは何か

少子高齢化が進むことで、地域の担い手不足が深刻となり同時に地方の市政経営はますます大変になっていく。そのため、「市民参画の対話による協働のまち」をうたっているわが市の特色を活かし、行政に全てお任せではなく、地域住民の力を活用した住民自治の推進をさらに進めていくことが、市民がイキイキと活躍できるまちづくりにつながると思う。

問 新しい制度や条例等の市民への情報提供として、「職員の出前講座」は何か。

答 市政の情報を伝え関心を持ってもらうことは非常に大きな課題なので、提案も参考にしながら対応を考えていく。

問 出前講座に市民ファシリテーター養成講座を設け、認定市民ファシリテーターに講師を担ってもらうのはどうか。

答 ファシリリによる市民団体も立ち上がっているので、必要性を考えて検討していきたい。

問 地域のリーダーとなる市民ファシリテーターの今後の育成計画や方向性はどうか。

答 地域リーダー育成プロジェクトでは高校生を、絆づくり事業や未来若者プロジェクトでは積極的に活動している方を対象に行っていく。

問 住民自治を推進していく上で、絆づくり事業のテコ入れが必要と考えるが、事業内容の固定化や、地域への浸透が薄いなど、見直しが必要な状況にあると考えている。

答 多世代間の交流ができる多機能型コミュニティ施設が必要と考えるが、行政機能の補完や地区への支援、地域づくりや生涯学習等ができる地域拠点の整備が必要になってくる



問 相良地区で計画している公民連携の大型施設を、同じく都市拠点となる榛原側にも整備していく計画はできたらいいなと思っ

答 できる。民間の方々からの提案もある中で、様々な課題解決ができるか検討していく段階にきている。



濱崎 一輝

質問の様子はこちら
-動画配信中！-



市民が活躍できるまちを



追跡!

提言書のその後を検証!

過去に市議会（常任委員会）から市長へ提言したものについて、その後、市政にどのように生かされているのか検証します。

○海水浴場の誘客に向けた整備について（平成30年提出）

海水浴場の公衆用トイレは利便性に乏しく、老朽化が目立ち、車椅子での利用にも配慮されていない。また、シャワー室もプライバシー保護の観点から問題がある。多くの海岸利用者が利用するこれら施設の快適性を向上させるよう整備、改修すること。



静波海岸マリンスポーツステーション
完成イメージ図

平成30年度に静波海岸では初となる中央トイレの簡易水洗化、照明のLED化等を実施。今年度中には、新たにシャワー室や更衣室、障害者用トイレなどの機能を備えた「静波海岸マリンスポーツステーション」を整備する。



市内各地区で活動する保健師

○子育て支援について（平成28年提出）

子育て支援事業を推進する上で、指導や相談などの体制整備が重要である。保育士、保健師、臨床心理士の不足により、事業が計画的に推進できていない現状が見受けられることから、専門スタッフの適切な人数を確保し、体制強化を図ること。

牧之原市における人口に対する保健師数は県内でも高水準であり、毎年採用している。また、平成30年度より心理問題を専門とする臨床心理士や、相談業務等でニーズの高まっている社会福祉士など過去に採用実績のない職種を採用している。保健師が地区単位で活動する「地区担当制」を実施しており、相談体制も充実してきている。

常任委員会の調査事項が決定

本会議において、常任委員会は市の提出議案について審議を行っています。その他にも常任委員会では任期（2年）の間、本会議の閉会中においても市の諸課題の中から、懸案事項などについて、調査・研究テーマを設定し、提言に向け委員会を開催します。

総務建設委員会

将来を見据えた魅力あるまちづくり



市の設計書とも言うべき「総合計画」や国のまち・ひと・しごと創生法に基づく「地方版総合戦略」、これらは全て将来に渡りいかに持続可能なまちを創り上げるかを主題としています。全国的に加速度を増す少子高齢化の波は、大なり小なり地方のあり様を変化させ、そこで対処を誤り、対応が遅ればこのまちの持つ基礎体力を奪われかねません。

そのような中、委員同士の議論から出た意見が「将来を見据える」という視点でした。公共施設マネジメントや立地適正化計画、農業支援、休眠漁港の利活用を含む沿岸部活性化、近隣市町との広域連携など課題は尽きませんが、大局的な視野に立ち「将来を見据えた魅力あるまちづくり」をテーマに、今後は数ある課題の中からポイントを絞りつつ実効性を伴った政策提言を目指します。



文教厚生委員会

環境保全に向けた取り組みについて



今、世界は温室効果ガスの排出などによる地球温暖化や海洋へのプラスチックごみの流出など、環境課題が危機的な状況となつています。昨年12月に開催された国連の温暖化防止会議（COP25）でも世界の国々がその対策や保護について協議しました。

私たちの牧之原市は海岸線約15キロを有し、市民は海、空、山の自然を享受しています。環境問題について考えることは責務であり、保護、改善していくために市民としてできることがあると考えます。牧之原市から国内外に自然環境を守ることを発信したいという願いから、まず私たちの生活周辺の環境の現状を把握し、改善に向け調査したいと思えます。市民や事業者が環境問題に関心を持つていただき、取り組むべきことを研究するため、当委員会では今回『環境保全に向けた取り組みについて』をテーマとして約2年にわたって調査と研究を進めていきます。

～議会からの条例制定に向けて検討を進めています～

地方議会では現在、市長から提案のあったものが良いかどうか判断する「意思決定機能」や、市を監視する「チェック機能」だけでなく、市民の意見をくみ取り、市議会自らが市の政策を立案する「政策立案機能」が求められています。そこで牧之原市議会では平成30年7月に政策立案推進部会を設置し、議会からの条例制定を目指しています。

昨年、ワーキンググループ2が検討してきた「牧之原市議会の議員の欠席時における議員報酬等の特例に関する条例」を議会として制定しました。現在は、2つのワーキンググループが条例制定に向け、検討を進めています。

ワーキンググループ1 (仮称) 牧之原市の子どもたちの未来を育む条例

【目的】

子どもたちが自ら郷土を愛し、生涯に渡りこの「まち」に住み続けたいと思ってもらえるような良好な育成環境を整備していく。

そのためには、子どもたちを取り巻く様々な人たちの協力が必要不可欠であり、共に未来の牧之原市を担ってもらう子どもたちを育成していく条例制定を目指す。

ワーキンググループ3 (仮称) 田沼意次侯に学ぶ牧之原市のまちづくりの条例

【目的】

生誕300年を契機とした意次侯を生かしたまちづくりの趣旨のつとめ、「田沼意次侯生誕300年 議会宣言」を行った責任を果たすためにも、意次侯にちなんだ牧之原市らしい特色ある条例制定を目指す。

議会を傍聴してみませんか

2月定例会の日程

2月25日 (火) 提案説明

3月5日 (木) 通告質疑

9日 (月) } 一般質問
10日 (火) }

24日 (火) 審議・採決

※当初予算連合審査会

3月12日(木) 13日(金) 16日(月)



もっと市議会を知ろう!

傍聴する



市議会で行われている会議は全て公開です。

録画配信を見る



一般質問はいつでもご覧いただけます。

牧之原市 議会中継 ← クリック

会議録を見る



ホームページで本会議や委員会の会議録を見ることができます。

発行/静岡市牧之原市議会 編集/議会広報特別委員会
住所/〒421-0592 静岡市牧之原市相良275番地 電話0548(53)2650 FAX0548(52)1116
牧之原市ホームページ http://www.city.makinohara.shizuoka.jp
市議会メールマガジン city.makinohara.shizuoka.jp

編集後記

今号の表紙

【地頭方小学校 しめ縄作り】

地域ボランティア協力のもと、しめ縄を親子で作りました。他にも地頭方海岸での「どんど焼」など、学校では伝統に触れる機会を多く作っています!

新たな議会構成により、広報特別委員会のメンバーも若干の入れ替えがあり、私も委員長に就任させていただきました。これまでの副委員長として経験を生かし、議会活動の見える化を意識しながら様々な情報発信を行ってまいります。

市議会が市民の皆さんにとって、より身近で親しみの持てる存在になるような紙面づくりを目指します。

議会広報特別委員会 (濱崎)

委員長 濱崎 一輝
副委員長 原口 康之
委員 藤野 康守
吉田 朋彦
鈴木 長馬